



K 中 通 信

学校だより第12号
令和6年3月19日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

新たな一歩

校長 佐藤 由利

3月12日、84名の卒業生が巣立っていきました。当日はあいにくの空模様でしたが、演台の前に立った卒業生の表情は清々しく、ほとんどの生徒が、緊張の中でも私の目をしっかり見ながら卒業証書を受け取ってくれました。「おめでとう。」と一人ひとりに声をかけながら、「応援しているよ、がんばってね。」の気持ちも込めたつもりです。

後に紹介していますが、代表の出井さんの門出の言葉、その前後に歌われた合唱「大地讃頌」「旅立ちの日に」も、それぞれに学年の歩みや学年らしさがよく表れ、想いの込もった素晴らしいものでした。これから先、卒業生一人ひとりがどんな風に成長していくのか、とても楽しみな気持ちにさせてくれた門出の一日でした。

3月7日には「三年生を送る会」が行われました。今年も、在校生からのメッセージ動画や思い出のスライドの数々を、工夫した構成で楽しく見せてくれました。会そのものも素晴らしかったですが、担当の先生からは、準備段階から実行委員が自主的に活動する場面が昨年より格段に増え、大きな成長を感じた、との嬉しい話もありました。

卒業式では、「在校生合唱」として歌で卒業生へ想いを届けました。予行での1・2年生合同の合唱も、当日の2年生と1年生代表生徒による合唱も、とても気持ちの込もった素晴らしい歌声でした。「三送会」の取り組みも、在校生合唱も、卒業生に感謝の気持ちをしっかり伝えることができたと思いますし、これからの軽井沢中を担っていく新3年生や新2年生の活躍に、大きな期待を感じさせるものでした。

卒業式からまだ1週間ですが、2年生の表情は少し変わりました。最高学年への心構えができつつあるのを感じます。4月からの新年度を前に、新たな一歩は踏み出されています。

* * * * *

保護者の皆さま、地域の皆さま。今年度は4年ぶりに制限のない日常が戻ってくる中で、学校でも新たな工夫を加えながら教育活動の充実に努めて参りました。おかげさまで無事に卒業生を送り出し、年度末を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。来年度はより一層皆さまへの発信に努め、本校の教育活動へのご理解やご協力をいただけるよう努めながら、生徒たちが、より安心して生き生きと学校生活を送れるように取り組んで参りたいと思います。本年度も、1年間本当にありがとうございました。